

本年度の重点目標		(1) 学習評価、授業公開・「高校生のための学びの基礎診断」等を活用して授業改善を推進し、生徒の学びに向かう力を育てる。 (2) 生徒面談、アンケート、サポート委員会等を活用して、いじめ等の予防・早期発見に努め、生徒が安心して過ごせる居場所づくりを進め、生徒の絆づくりの環境を整える。 (3) 専門学科としての本校の教育活動の特色、魅力について校内で共通理解を図り、わかりやすい情報発信を工夫する。 (4) 職員の協働体制を確立し、業務の適正化を図るとともに、職員のメンタルヘルスの保持に努める。	
項目(担当)	重点目標	具体的方策	中間評価
PTAとの連携 (総務部)	参加しやすいPTA活動の工夫	(1) 授業参観や行事運営の工夫 (2) 親しみやすいPTA研修会の企画	(1) コロナ禍の中で、安全対策を施し授業参観を実施できたが、一部のクラスが密状態となった。場所等の対策が必要である。 (2) いくつかのPTA行事が中止となったが、PTA総会・校内研修会等安全を考慮してできる限りのことは実施した。
防災組織 (総務部)	防災組織の強化	(1) 防災マニュアルの活用	(1) 8月23日の出校日にシェイクアウト訓練のパンフレットを配布し、事前予告をして、2学期始業式で抜き打ちのシェイクアウト訓練を実施した。 9月30日に避難訓練を実施したが、今年もコロナ感染予防のため、大府消防本部からの派遣はなかった。さらに、雨天のためグラウンドへの避難は中止し、教室でのシェイクアウト訓練と報告訓練を実施した。
読書指導 (総務部)	図書館利用の向上	(1) 落ち着いた読書環境の維持 (2) 図書館活動の活性化	(1) 感染対策をしながら読書環境の維持に努めた。 (2) 文化祭で図書委員による図書館クイズを行い、少しでも親しみある図書館を目指し、かつ活性化を図った。
学習指導 (教務部)	確かな学力の向上	(1) 授業方法、学習指導の改善 (2) 学習習慣の定着	(1) 学習内容に合わせてタブレットなどを活用し、生徒の興味・関心を高められる授業の実施に努めた。 新型コロナウイルスの予防対策を講じながら授業公開を実施することができた。 (2) 課題の提出状況は多くの生徒が期限を守り提出できている。家庭での学習時間も増えた生徒が昨年度より多くなっている。学習習慣の定着を図ることができるように学習内容の提示を行っていく。
進路指導 (進路指導部)	適切な進路情報の提供と学科に対応した進路指導	(1) 生徒の適性・意欲を考えた進路情報の提供 (2) 進学・就職に関わる情報の提供	(1) コロナ禍の影響で実施できた進路行事(3A進路ガイダンス)と実施形態を変更した進路行事(専攻科修了生との懇談会)等があるが、個々の進路希望に応じ、できる限りの方法で進路情報を提供し、進路意識の高揚を図った。 (2) 12月の出前講義(2A)などの行事、専攻科でのキャリア教育の再構築を行うなど、3学科ともより現実に即した行事を計画・実施し、進学・就職に関わる情報提供を行っていく。
生徒指導 (生徒指導部)	基本的生活習慣の確立	(1) 身だしなみを整える (2) 遅刻指導の工夫と徹底	(1) 身だしなみに関しては一部の生徒を除き不十分である。注意されなければカッターシャツの第一ボタンとリボンが整えられない。根気よく指導を継続する。 (2) 毎年同様、立哨指導と段階指導を行っている。
特別活動 (生徒指導部)	特別活動の充実	(1) 学校行事の活性化	(1) 学校祭は緊急事態宣言が発令されている中、各クラス、部活動、生徒会が感染対策を行いながら実施することができた。
交流推進 (生徒指導部)	桃花校舎との交流推進	(1) 桃花校舎との交流推進	(1) 合同での学校祭を計画していたが、コロナの影響で体育祭は実施できず、文化祭も制限がある中での実施となり、交流は難しかった。
学校保健 (保健部)	ヘルスプロモーションの実践	(1) 保健委員会活動の充実 (2) 教育相談の工夫	(1) 感染症拡大予防に努め、クラスメートの健康管理を行った。タイムリーな保健だよりの作成を積極的に行った。 (2) 課題を抱える生徒についてサポート委員会を開き、具体的な問題解決策を講じた。 スクールカウンセラーの利用や、生徒が相談しやすい環境を整えた。
環境美化 (保健部)	美化活動の充実	(1) 美化活動の充実	(1) 感染対策のため共有施設の清掃を丁寧に実施するように、美化委員を通じて生徒に働きかけた。校舎の修理に伴って清掃場所が変更になった際にも、階段清掃を重点的に実施するように計画した。今後も美化活動を継続していきたい。
ヒューマンケア科	教育活動の工夫と充実	(1) 学びの基盤の形成 (2) 専門的学習の充実	(1) 1年生、2年生の大学等施設見学を11月に実施する予定である。コロナ禍のため2年生の国立長寿医療研究センターの病院見学は中止とした。 幅広い学習に繋げていけるよう、社会人講師の授業の機会を増やして実施している。ボランティア講座の実施によって、自分のできる些細なこともボランティアにつながることを学び、意欲が増した。コロナ禍での数少ないボランティア活動へ1、2年生が多数参加している。 2年生の校外実習、3年生の障がい者施設実習、保育実習は施設の協力で全員実施できた。哉志の会は来賓、在校生等の参加を縮小したが、生徒は前向きに取り組み、それぞれの将来の方向性や校外実習への思いを述べていくことができていた。 (2) 秘書技能検定、ビジネス実務文書検定は前期の開催ができた。後期にも多くの受験申込みがあり、積極的に取り組んでいる。
衛生看護科	教科指導の充実と豊かな感性の育成	(1) 心身の健康と学びに向かう力の育成 (2) 将来の医療職の担い手として、看護倫理や人間的感性を育む指導	(1) 桃花祭での健康教室を、地域の協力を得ながらコロナ禍による感染予防対策を講じて開催できたことは有意義であった。今後欠席が増えた生徒や臨地実習に関連した学習支援に努力していく必要がある。 (2) 臨地実習を通して、豊かな心が育成できるような実習体験にしていくことが必要である。愛知県産業教育振興会専門作文コンクールおよび体験作文では、最優秀賞、2位と良い成果を修めた。今後も教科指導を通して生徒の看護観の育成に努力していきたい。
第1学年	基本的生活習慣の確立と基礎学力の向上	(1) 礼儀と節度ある行動の励行 (2) 基礎学力の向上	(1) 遅刻、欠席は少ないが余裕を持った行動が苦手な傾向がみられる。また挨拶が苦手なため、積極的に挨拶をすることを勧めている。 (2) 定期考査週間になったら、業後1時間居残り学習を行い、お互い教えあい切磋琢磨することを勧めている。(1A全員参加)

第2学年	学校生活の充実	(1) 日常的な学習の確立 (2) 行事、部活動への積極的な参加 (3) 進路指導の充実	(1) 両学科とも全体的に落ちついて学習している。 (2) 部活動に登録している生徒は一生懸命頑張っている。 (3) ヒューマンケア科については、哉志の会を終え、決意を新たに実習に向けて取り組んでいる。家庭学習時間が少ないため、進路実現に向けて学習意識を向上させたい。 衛生看護科については、長期の実習に向け不安を感じつつも頑張っているため、個別に対応し応援していきたい。
第3学年	進路目標の実現	(1) 進路指導の充実 (2) 専門技術の習得のために、自主的に学習できる資質の育成	(1) 進路部の教員を中心によくやっているが、生徒が教員に頼りすぎな面もある。提出期限や書類の書き方など今までに指導したことがないことも細かく注意しなければいけない状況がある。 (2) 自主的に学習に取り組む生徒が増えてきたが、専門技術に不安を感じている生徒もいるため、知識や技術の習得だけではなく、メンタル面でも個別に丁寧な対応をしていきたい。
専攻科	進路実現	(1) 国家試験対策の実施 (2) 就職指導の充実 (3) 学習方法のガイダンスの実施	(1) 模擬試験実施計画に基づき、学年毎に国家試験対策を実施している。 コロナ禍のため、WEB受験の形式が増えている。受験の確認、受験後の指導などに工夫が必要である。 (2) 昨年同様、専攻科1年で実施予定の懇談会が中止となり、代わりに卒業生のメッセージを配付した。また、臨地実習前にも外部講師による就職指導の講義を予定している。 専攻科2年については、第一志望の内定が取れない生徒が複数あり、次の就職試験の選定など指導に苦慮している。 (3) 入学時や各授業において学習指導を行っている。外部講師の授業が多く、授業進度も早いため、生徒自身の授業への取り組みや学習方法の工夫が必要となる。さらに個別の指導も含めた丁寧な指導を行っていきたい。
学校関係者評価を実施する主な評価項目		(1) 授業改善が進み、生徒の学びに向かう力を育てることができたか。 (2) 生徒が安心して過ごせる場所としての環境を整えることができたか。 (3) 学校の特色・魅力についてわかりやすい情報発信ができたか。 (4) 職員の協働により業務の適正化が図れ、職員のメンタルヘルスの保持ができたか。	